

平成30年度 事業報告

I. 事業報告書

1 概況

内閣府によれば、平成30年度の我が国の経済は緩やかな回復が続き、雇用・所得環境の改善により個人消費の持ち直しが続くなど、経済の好循環が着実に回りつつある中、生涯現役社会の実現に向けて高齢者雇用促進のための改革を実現するとともに、女性や障害のある方の活躍、外国人材の受け入れなどを推進し、誰もが生きがいを持って充実した生活を送ることができる一億総活躍社会の実現を目指しています。

一方、定年制の延長など働き方改革の影響もあってか、当シルバー人材センターの会員数は5年連続で減少し、平成31年3月31日現在2,967人と前年度に比べ13人減少し、会員の拡大は喫緊の課題となっています。

このような状況下にあつて、当センターの契約件数は21,869件となり、前年度に比べて181件の減となりましたが、契約金額は13億3,884万円となり、前年度に比べて2,842万円の増となりました。また、就業率は前年度に比べて0.6ポイント増の79.1%となりました。

2 事業実施状況

(1) 就業の状況と就業開拓

平成30年度の当センターの契約金額全体の公民比は59:41となっており、近年、公共部門は堅調に推移しているものの、民間部門はその構成比率が年々減少しています。そのため、当センターは、役員、会員及び事務局職員が就業先の維持・拡大及び新規開拓に向けて、引き続き以下のように取り組みました。

① 発注者訪問・就業開拓

毎年、全理事による発注者訪問を実施し、発注量や職種の維持・拡大の要請、就業会員の評価や要望事項等の聞き取りを行い、改善を図ってきました。平成30年度は11月に28件の発注者訪問を行い、就業の維持・拡大に努めました。

② 公共事業及び指定管理者事業

地方自治法に基づく「政策目的随意契約」の対象団体である当センターは、行政と連携して政策目的に適った受注確保に努めています。

区立自転車等駐車場やレンタサイクルポートは、平成23年度から5年間の第3次指定管理者の指定に引き続き、平成28年度から5年間の第4次指定管理者となり、自転車等駐車場54か所、レンタサイクルポート7か所の合計61か所を管理し、376人の会員が就業しました。契約金額は、当センター全体の39.5%を占める5億2,982万円となりました。

③ 民間事業と家事援助サービス

近年の傾向として、民間事業については受注件数は減少し、一部の企業などを除くと、相対的に小規模かつ不規則な受注が多い状況となっています。

特に、家事援助サービスでは、会員コーディネーターが会員の円滑な就業に努め、平成

30年度は280人の会員により年間4,349件の契約実績で、前年度比97件の増となりました。また、65歳以上の高齢者世帯向けの「あったかサポート」事業では、家具等の移動、買い物、電球の取替えなど、平成30年度実績は62件で、前年度比32件の減となりました。

なお、平成27年1月より実施した「支えあいサービス」の平成30年度契約実績は494件となり、前年度に比べ65件の増となるなど、引き続き世田谷区や世田谷区社会福祉協議会との連携強化を図りました。

④ 独自事業

会員の優れた技術や経験を活かした当センターの独自事業は、児童生徒の学習教室、情報化に対応したパソコン教室、趣味活動のカルチャー教室、陶芸教室を展開していますが、事業実績は前年度を0.1%下回る結果となりました。その他、「刃物研ぎ事業」も引き続き実施しました。

⑤ 仕事別グループ

当センターでは、事業運営の効率化や会員相互の連帯感等の強化をめざし、仕事別グループを認定して、グループによる自己完結的な仕事の推進を図っています。植木剪定、除草、襖・障子張り、家事援助などのグループが、受注受付やグループ内の連絡調整などを積極的に図り、就業実績や成果の向上につなげています。また、自転車等駐車場・レンタルサイクルグループについては、指定管理者制度に基づき、世田谷区との連絡・調整、契約・精算の他、自転車管理センターが主体となり会員間の相互調整や研修等を自主的に行っています。

なお、平成31年2月28日には、15グループ代表と理事・監事・職員による「仕事別グループ交流会議」を開催しました。今回は、女性会員増に向けて女性会員の活躍の場を拡大させることを目的に、各グループ内の女性就業者に積極的に参加いただき、課題や解決方法などについてさまざまな意見交換を行いました。

(2) 就業改善の推進

① 「第4次就業改善推進計画」により、4回ルールの徹底、ワークシェアリングの推進、未就業会員調査による就業支援の着実な推進を図りました。

② 未就業会員の意向調査と就業促進

平成29年4月から平成30年10月までの未就業者494人を対象に、就業に関する意向調査を実施しました。回答をいただいた会員には、個々の状況により就業を優先的に提供し就業率の向上につなげました。

③ さわやか相談窓口と事務局相談による就業促進

毎月第2月曜日(原則)に開設している「さわやか相談窓口」は、理事が交代で会員からのさまざまな相談を受ける窓口で、平成30年度は54人の相談を受けました。また、事務局窓口では平日の業務時間内に就業に関する会員の相談を受けており、いずれも会員の就業支援・促進の役割を担っています。

(3) 安全就業の徹底

安全就業は就業継続の前提条件であり、当センター事業運営においての最優先事項になっています。

当センターの「安全就業推進計画」に基づき、広報誌「シルバーせたがや」による意識啓

発を行うとともに、安全委員会委員による安全就業強化月間（7月）のパトロールでは、熱中症対策やその他安全に関する注意喚起のため、外の作業現場を中心に実態調査を実施しました。特に、安全委員会では近年の傷害事故とりわけ自転車事故の増加に伴い、安全はすべてに優先することを主眼として、本年は「自転車シミュレーター交通安全研修」を実施し、その効果を検証するとともに次年度も引き続き実施することになりました。

また、安全就業に関するリーフレットを作成し、研修の際などさまざまな場面で安全就業に関して重点的に啓発を行うとともに、都連合や第4ブロック（世田谷区、港区、品川区、目黒区、大田区、渋谷区の各シルバー）共同で実施する研修参加などにより、安全就業への意識高揚を図るなど安全対策を実施しました。

（4）社会奉仕活動

公益法人改革により、当センターの事業目的に社会奉仕活動の実施が追加されたことに伴い、より一層の社会貢献が期待されています。

当センターでは、例年、たまがわ花火大会翌日の河川敷清掃や東京マラソン祭りの応援ボランティア、ボランティア協会等との連携による社会奉仕活動を実施しています。また、地域組織の各組では、自主的に地元町会や警察等のボランティア活動に加わるなど、15の組で47日間にわたり延246人の会員がさまざまな社会奉仕活動を行い、地域の区民の方々との連携が進んできています。

また、継続的ボランティア事業として実施している高齢者等会食サービス「シルバーまんま」は、平成30年度は年間で11回、延97人の利用者への会食を13人の会員ボランティアで実施しました。

なお、平成26年5月より用賀ワークプラザ2階に開設した高齢者区民向け「あったかサロン」事業は、週2回の開催、参加費1回100円で茶菓を提供し、楽しくおしゃべりをしていただくとともに時節に合った催し物を開催し、高齢者の孤独の解消をはかろうとするものです。平成30年度は年間で99日開催し、延1,286人の高齢者が利用されました。年度末の利用登録者は378人、センターの会員ボランティア登録者は126人となっており、ボランティア会員の献身的な協力で運営されました。来年度も引き続き拡充・拡大を目指します。

（5）人材育成及び研修

当センターの仕事の評価は、仕事の完成度、会員の技能、モラルやマナーなどに大きく左右されます。公共事業に限らず、企業や家庭の就業でも、発注者はより質の高いサービスをセンター会員に求めてきています。

指定管理者事業の就業会員全員に対する接遇研修、家事援助サービスでの研修やコーディネーターの指導等のほか、会員全員を対象にした入会時研修、2年次研修、5年次研修に加えて、班長研修、組長研修、仕事別グループによる技能研修、都連合や第4ブロックでの共同研修など、会員の経験や役割に応じた研修で動機づけを図りながら、技能やマナーの向上に向けた人材育成に取り組みました。

平成30年度 研修実施状況

区 分	研 修 内 容 (主催・実施場所等)	期 日 ・ 参 加 人 員
入会時研修	入会説明会 (入会希望者対象)	年17回(月1～2回) 延456人
	入会時研修会 (入会申込者対象)	年12回(月1回) 延355人
技 能 研 修	植木剪定研修	5月15日、6月6日、10月10日、2月25日 (4回延220人)
	除草技能研修 (刈払機作業従事者安全衛生教育講習) (都連合)	9月7日 (2人1日)
	就業支援講習 (ハウスクリーニング・毛筆筆耕・接遇等) (都連合)	年間 (20人25日)
	「指定管理者事業」 自転車等駐車場 防災訓練	12月20日(午前・午後) (2回48人)
	〃 新規就業者研修	年 間 (14回53人)
	〃 就業1年以内研修	5月28日 (1日30人)
	〃 就業2～4年目研修	6月7・14日、7月5日 (76人3日)
	〃 救命救急研修	11月8・9日 (56人2日)
	〃 救命救急研修	11月13・14日 (53人2日)
	〃 リーダー研修	5月10日 (26人1日)
〃 サブリーダー研修	5月17・24日 (52人2日)	
〃 就業5年超研修	11月26日 (28人1日)	
役 員 研 修	決算監査と監事の役割	4月9日 (1人1日)
	新任理事研修 (都連合)	7月18日 (1人1日)
	役員研修	11月26日 (12人1日)
会 員 研 修	組長研修会	9月14日 (12人1日)
	班長研修会	10月2日 (74人1日)
	家事援助サービス就業会員研修 (全体研修)	3月19・26日 (140人2日)
	〃 (新入研修)	年12回 (延84人)
	支えあいサービス活動前研修 (登録会員向け)	年5回 (延52人)
	支えあいサービスフォローアップ研修 (就業中会員向け)	年2回 (延23人)
	支えあいサービス登録会員研修会	11月30日 (54人1日)
	除草就業会員研修 (新入研修会)	年6回 (延24人)
	一般会員研修 2年次研修	7月23・31日、1月29・31日 (163人4日)
	一般会員研修 5年次研修	11月20・27日 (92人2日)
	高齢者の転倒防止 (都連合)	4月11日・3月13日 (3人2日)
	事故未然防止講習会 (第4ブロック)	9月14日 (5人1日)
	「安全大会」 (都連合)	9月28日 (2人1日)
	自転車シミュレーター交通安全研修	10月30日 (35人1日)
組の「地域活動懇談会」講習会(防犯・防災・福祉等)	7月～11月 (延246人)	
職 員	プレゼンテーション、クレーム対応、総会運営、適正就業、就業開拓、コミュニケーション、経理、決算、人権、個人情報保護、非行防止 他 (都連合)	年17回 (延20人)
	交通安全、労務管理、クレーム対応とメンタルヘルス、担当者会議 (植木、適正就業)、救命救急(AED含む) (第4ブロック)	年7回 (延19人)
	職員研修	11月28・29日 (12人)

(注) 研修内容(主催・実施場所等)の欄における()内の表示は、(都連合)公益財団法人東京しごと財団、(第4ブロック)品川区、渋谷区、大田区、目黒区、世田谷区、港区シルバー人材センター共同実施。
()表示の無い研修は、当センターが企画・実施した研修です。

(6) 広報・調査活動

① 当センターの事業の普及啓発や会員募集に役立てるため、各種ポスター・リーフレット類を作成し、区民まつりをはじめ区内イベント等でのPR活動を実施するとともに、協力者宅にポスターを掲示しました。また、ホームページのリニューアルを機会に、区民や発注者向けの情報発信と事業広報に努めました。

さらに、会員向け広報誌「シルバーせたがや」を四半期ごとに合計4回発行し、事業の進捗状況の報告や会員のページなど、読みやすい紙面づくりに引き続き取り組みました。

② サービス満足度調査等の実施

理事の発注者訪問時において、当センターのサービス満足度や要望等を聴き取るとともに、家事援助・育児支援サービスを継続してご利用いただいている約340件の発注者に対しては、翌年度の意向確認やアンケート調査を実施しました。その結果、作業内容では85%、会員の態度では93%の発注者からそれぞれ「良かった」という回答が寄せられました。除草グループでも同様のアンケートを実施し、作業内容では83%、会員の態度では88%の発注者から、それぞれ「良かった」という回答が寄せられています。今後もより良い評価の維持に努めてまいります。

平成30年度 広報実施状況

区 分	説 明	実施内容	
印刷物による広報	広報誌「シルバーせたがや」の発行	会員への各種情報提供と一般区民向けの情報誌として、各種調査報告やセンター事業紹介、安全就業の呼びかけ等を掲載。また、相談事業の日程、安全標語の募集等各種のチラシのはさみ込みを毎号行い、情報提供の拡大を図った。	年4回 発行 1回 4,300部
	リーフレット等の作成・配布	リーフレットは、一般区民向け及び入会希望者向けに作成し、「ふるさと区民まつり」「いきいきせたがや文化祭」等においてPR用品と共に配布するとともに、新たな就業開拓活動等にも活用。また、仕事別のチラシや家庭の仕事のチラシを引き続き作成し、目的別の配布を行った。さらに、「ティッシュペーパー」等数種類のPR用品を作成し、企業・家庭等の請求書に同封しPRを行った。	随時
	区広報の活用	センターへの理解と協力を広く区民にPRするとともに、学習教室・陶芸教室・パソコン教室・カルチャー教室の受講生募集に活用。	年6回
ポスター掲示等	協力を得られた区民、役員、地域組長、及び地域班長等の自宅の扉や生垣等へもPR用ポスターを引き続き掲示した。	年間	
ふるさと区民まつり	PR用品の配布等を行った。8月4日(土)、8月5日(日) 於：世田谷区民会館・区役所中庭・若林公園	PR用品3,000個 配布	
いきいき せたがや文化祭	高齢者クラブ連合会、生涯大学と共催で実施。10月24日(水)、25日(木) 於：世田谷区民会館 来場者数は5,818人	PR用品1,000個 配布	
資料の提供	会員への情報・資料等の提供をはじめ、関係機関等への情報提供を行った。また、ホームページの内容の充実を図り、随時更新を行うことによりタイムリーな情報を広く提供した。	随時	

(7) 設立 40 周年記念事業

当センターは、昭和 53 年 7 月に世田谷区高齢者事業団として発足以来、平成 30 年に設立 40 周年を迎えました。そこで、これを記念し、定時総会と併せ「設立 40 周年記念式典」を開催しました。式典の開催にあたっては実行委員会を設置し、4 回の会議を経て、第 1 部を記念式典、第 2 部をアトラクションとして、来場者全員が参加できるように工夫しました。当日は約 500 人の参加を得て、会場が一体となり 40 周年記念事業にふさわしく盛況裡に幕を閉じました。

また、記念事業の一環として 40 周年記念誌の発行も計画し、当センター機関誌「シルバーせたがや」の春号と合併し「創立 40 周年記念号」として発行することになりました。そのため、広報・広聴部会を中心に記念誌編纂委員会を設置し綿密な検討を重ね、各地域組織の活動状況や会員の就業風景等を中心とした記念号の発行に繋げることができました。

(8) 理事会の活性化・組織活動の充実

平成 23 年 4 月の公益法人改革により理事会や役員の権限・責任が強化され、役員の一体性・機動性が期待されています。

理事会のもとで運営委員会が具体的な案件の提案や方向性を示し、4 つの部会で特定事項の調査分析・検討を行い、迅速かつ円滑な決定を行うとともに、近年の会員による傷害事故の増加に伴い、安全委員会によるさまざまな啓発活動を実施しました。

また、地域組織の改編・整備を引き続き行い、情報の共有化を円滑にするための活動を推進しました。

さらに、地域組織の活性化をめざし、「組支援理事」活動を充実するとともに、地域活動懇談会の開催、会員の交流親睦の活発化のほか、就業についての意見交換などを行いました。

3 会 員

平成 30 年度中の入会者数は 347 人（男 217 人、女 130 人）、退会者数は 360 人（男 239 人、女 121 人）となりました。

平成 30 年度末の会員数は 2,967 人（男 2,019 人、女 948 人）となり、前年度に比べ 13 人減少しました。なお、玉川地域で 5 回開催した臨時入会説明会では、39 人の参加者のうち 20 人の入会がありました。

会員の平均年齢は 75.4 歳、最高齢は 95 歳、最も会員数の多い年代は 75～79 歳代が 32.7%、次いで 70～74 歳代が 30.3%、となっています。

4 仕事の提供（受託事業及び独自事業）

（1）受託件数

総受託件数は21,869件で、前年度に比べ181件減少しました。

発注者別に見ると、公共事業は80件増の1,738件、民間事業は261件減の20,131件となりました。なお、民間事業の内訳は、企業等が190件減の6,258件、家庭が75件減の13,747件、その他独自事業は4件増の126件となりました。

（2）契約金額

契約金の総額は13億3,884万円で、前年度に比べ2.2%、金額で2,842万円の増となりました。発注者別では、公共事業が4.6%増の7億9,062万円（構成比59%）、民間事業が1.1%減の5億4,823万円（構成比41%）となりました。

（3）配分金

配分金の総額は10億5,115万円で、前年度に比べ3.2%、金額で3,212万円の増となりました。発注者別では、公共事業が7.4%増の5億5,568万円（構成比53%）、民間事業が1.2%減の4億9,547万円（構成比47%）となりました。

（4）就業人員及び就業率

平成30年度中に1回以上就業した会員（就業実人員）は2,346人、前年度に比べ6人の増となりました。また、就業率は79.1%と、前年度に比べ0.6ポイントの増となりましたが、目標値（80%）には届きませんでした。

今後も、さらなる就業拡大のため、会員の確保、仕事の開拓、ワークシェアリングの推進などに努めていきます。

5 附属明細書

平成30年度事業報告に、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」はありませんでした。

6 平成30年度 会議開催状況

定 時 総 会

開催日	主 な 会 議 内 容
平成30年 6月19日	<p>会 場：世田谷区区民会館ホール 時 間：午後12時30分～ 出席者：会員総数2,968名 中384名 他に委任状提出及び議決権行使書提出1,503名 合計1,887名</p> <p>○議 事 第1号議案 平成29年度 公益社団法人 世田谷区シルバー人材センター 決 算・会計監査報告 第2号議案 公益社団法人 世田谷区シルバー人材センター 理事の選任</p> <p>○報告事項 (1) 平成29年度 事業報告 (2) 平成30年度 事業計画 (3) 平成30年度 予 算</p> <p>○ 議長に吉川 清治会員が選任され、議事を進めた。 ○ 報告事項(1)及び議案1について宮内常務理事より資料による説明がなされたあと、明石監事より監査報告があった。 満場一致で承認された。 ○ 議案2について宮内常務理事より資料による説明がなされ、満場一致で原案通り承認された。 ○ 報告事項(2)、(3)について宮内常務理事より報告された。</p>

理 事 会

回	開催日	議 題 等
第1回	4月26日	(審議事項) 1 会員の入会について 2 平成29年度事業報告(案)について 3 平成29年度決算(案)について 監査報告について 4 平成29年度会員表彰者の決定について (報告事項) 1 会員の退会について 2 事業実施状況報告 3 委員会報告について 4 事務局報告について
第2回	5月25日	(審議事項) 1 会員の入会について 2 理事候補者の選任について (報告事項)

回	開催日	議 題 等
		1 会員の退会について 2 事業実施状況報告 3 委員会報告について 4 40周年事業実行委員会報告 5 事務局報告について
第3回	6月27日	(審議事項) 会員の入会について (報告事項) 1 会員の退会について 2 事業実施状況報告 3 委員会報告について 4 委員会・部会の所属について 5 事務局報告について
第4回	7月25日	(審議事項) 1 会員の入会について 2 8月入会申込者のみなし決議の実施について 3 シルバーせたがや40周年記念合併号編纂委員会の設置と委員構成について (報告事項) 1 会員の退会について 2 事業実施状況報告 3 委員会報告について 4 事務局報告について
臨時	8月13日 みなし決議	(審議事項) 1 入会承認について
第5回	9月27日	(審議事項) 1 会員の入会について 2 世田谷区シルバー人材センター職員懲戒等審査委員会規程(案) (報告事項) 1 会員の退会について 2 事業実施状況報告 3 委員会報告について 4 事務局報告について
第6回	10月26日	(審議事項) 1 会員の入会について

回	開催日	議 題 等
		(報告事項) 1 会員の退会について 2 事業実施状況報告 3 代表理事・業務執行理事の職務執行状況報告 4 委員会報告について 5 事務局報告について
第7回	11月26日	(審議事項) 1 会員の入会について (報告事項) 1 会員の退会について 2 事業実施状況報告 3 委員会報告について 4 事務局報告について
第8回	12月25日	(審議事項) 1 会員の入会について (報告事項) 1 会員の退会について 2 事業実施状況報告 3 委員会報告について 4 事務局報告について
第9回	平成31年 1月25日	(審議事項) 会員の入会について (報告事項) 1 会員の退会について 2 事業実施状況報告 3 委員会報告について 4 事務局報告について
第10回	2月25日	(審議事項) 1 会員の入会について 2 陶芸教室「陶芸事業運営要綱」等の改正について (報告事項) 1 会員の退会について 2 事業実施状況報告 3 委員会報告について 4 事務局報告について
第11回	3月25日	(審議事項) 1 会員の入会について 2 平成31年度事業計画(案)について 3 平成31年度予算(案)について 4 平成31年度定時総会開催日の決定について

回	開催日	議 題 等
		(報告事項) 1 会員の退会について 2 事業実施状況報告 3 代表理事・業務執行理事の職務執行状況報告 4 委員会報告について 5 事務局報告について

- (ア) 運 営 委 員 会 (11回)
- (イ) 地 域 組 織 ・ 会 員 部 会 (11回)
- (ウ) 広 報 ・ 広 聴 部 会 (11回)
- (エ) 就 業 適 正 化 部 会 (11回)
- (オ) 女 性 活 動 推 進 部 会 (11回)
- (カ) 安 全 委 員 会 (5回)